



5年生に進級し、高学年の仲間入りをしたことが嬉しくて、ワクワクした表情で5年生の教室に入った日からもう1年が経とうとしています。ほとんどの制限が解かれ、運動会や野外活動、東っ子発表会など様々な行事を行うことができ、充実した1年にすることができました。「指示されたことをこなす」のではなく、「したいこと」を提案し、実行できる力を高めようとして始まった5年生でしたが、本当に、「自分たちで取り組む力」「自分たちで考え、修正していく力」がしっかりついたと思います。野外活動も東っ子発表会も、班長やリーダーが中心となってみんなの意見をしっかりと吸い上げながら企画し、実行していくことができました。明日行われる、卒業を祝う会も、実行委員をはじめ、みんなが意見を出し合ってより良いものに仕上げることができています。

自分たちがやりたいことを学習することは、「主体的に学習する力」を付ける大切な手立てです。お家でも、1年間がんばったことをしっかりとほめていただければと思います。

1年間の学習や行事を通して、子どもたちがここまで成長できたのは、保護者の皆様方のあたたかいご支援とご協力のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

お知らせとお願い

- 2月号でもお知らせしましたが、3月19日の卒業証書授与式に、5年生が在校生代表として参加することになりました。卒業生の皆さんに感謝の気持ちを伝えることができるだけでなく、自分たちの1年後の姿を想像し、目標をもつことができる大切な機会です。



在校生代表としての所作も学んでいきます。体育館の中は、気温が低いことが予想されますので、練習がある時には厚めの下着を着るなど、暖かくできるように声掛けをお願いします。また、服装は特別に用意していただくことはありませんが、儀式への参加のため、鮮やかな色を避け、白・黒・紺でシャカシャカ音がしない材質の物を着用していただくよう、よろしくお願いいたします。

- 3学期の「あゆみ」は修了式の日にお子さんに渡します。個人懇談会はありません。
- 6年に持ち上げる物を入れるため、お道具箱が入るくらいの大きさの紙袋（大きく記名します）を3月21日（木）までに持たせてください。



標準学力調査の結果について

12月に実施したCRT検査の結果は右のグラフのように、国語科も算数科も全国平均を上回りました。国語科は9.2ポイント、算数科は15.7ポイントそれぞれ高かったです。

詳しく分析をすると次のような課題が見られました。課題のあった点については、授業やドリルタイム、東っ子プリントなどで、定着を図っていきます。

【国語科】

- 「連用修飾語について理解している。」「情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章の情報を整理している。」の問題に課題がありました。

前者は、「指定された言葉がどの言葉を詳しく説明（修飾）しているか」を答える問題でした。半数以上の児童が、「指定された言葉をどの言葉が詳しく説明（修飾）しているか」を答えていました。問題文の助詞を読み取り、何を問われているのかを正確に把握できるようにしたり、連用修飾語を含む言葉の学習を増やしたりしていきます。

後者は、説明文から読み取ったことを、ノートに整理する際に使う言葉を文章中から抜き書きする問題でした。重要な言葉を2つ抜き書きするのですが、半数の児童がそのうちの1つしか正解していませんでした。文章の中から重要な語句を見つけることが難しかったと考えます。読書活動を充実させるように取り組んできましたが、選んでいる本に偏りが見られます。時々、いつもは読まないジャンルの本を選んで読むよう指導します。読書活動をさらに充実させることで、語彙を増やしたり内容を読み取る力を付けたりします。

【算数科】

- 「問題の場面を理解し、4日間に走った道のりの平均から、2週間に走ると考えられる道のりを求めている。」問題について、求め方を言葉や数、式を使って説明することができなかった児童が60%以上でした。問題の答えを出すことができて、それを文章等で説明することが難しかった児童が多かったと考えます。またこの問題は最終問題で、無回答が22.2%であることから、問題を解く時間が足りなかったことが考えられます。普段から、解き方の説明を文章でするようにしていき、どう書くと分かりやすくなるのかを指導していきます。また、じっくり考えることも大切にしながらも、問題を解くスピードも意識させていきます。

「示された除法の式の意味を理解している。」問題について、計算のきまりを使った後の数値が、何を示しているかを半数近くの児童が答えることができませんでした。迷った時や見直しの時には数直線をかいて考えることを徹底して指導していきます。また、立式した後にその式が何の数値を求めているのか、得た数値が何を表しているのかを考える習慣をつけることが大切だと考えます。式の読み取りができるように取り組んでいきます。

